

いざ出陣!!

和牛日本一 決定戦へ



*Kyuta no
kisei tachi*

休むことなく
命懸けで牛と
向き合ってきた。

ことが大事だったんだと思います。とにかく他の地域より1歩でも2歩でもリードしようと、種牛の改良にも力をいれました。10年で1

産者は家庭を犠牲にしながら、休むことなく命懸けで牛と向き合ってきたわけですし、関係者も早朝から牛のブラッシングを行うなど一切の妥協を許すことなく取り組んできました。大会までは残りわずかですが、今後の南那珂地区の畜産を見据えてさらにチームワークを高めていくことが大事です。全共で日本一になることは目標ではありませんが、ゴールではありませんからね」と奥村さん。

2012年に行われた前回大会から今日に至るまでの5年間は、他の地域との競争だったと振り返ります。「どんな細かな情報にもアンテナを張り、集めた情報はいち早く現場で共有して、みんなで一丸となつて試み続けたことが結果に繋がったんだと思う。確信がなしようね。確信がなくても実践し続けたら、代表に選ばれなかったみんなの想いを背負っているわけですから。すべての区で必ず日本一を獲つてみせますよ。串間にてっかいお土産を持ち帰りますよ!」。



全国和牛登録協会
宮崎県支部局長
ながとも あきひろ
長友 明博さん

9月7〜11日に「第11回全国和牛能力共進会宮城大会(以下、全共)」が開催され、日本一の和牛が決まります。宮崎県からは南那珂地区から選出された9頭を含む28頭が出場。史上初の3連覇に期待がかかります。



JAはまゆう畜産部
おくむら ともひろ
奥村 友博さん

心をひとつに
掴む日本一

「自信を持ってこれまで取り組んできました。あとは牛の健康状態を保つのみです」と現在の心境を語るのは、JAはまゆうの奥村友博さんです。奥村さんは全共に向けて生産者や関係者の指揮を執る南那珂地区の要。本番を直前に控えた今、出場牛の仕上げに拍車がかかります。

「この時期は、生産者や関係者がこれまで取り組んできた成果が牛の体型に表れてくるんですよ。生

強さの秘訣は絆の固さ

過去、チーム宮崎を全共初の2連覇に導いた長友さんは、南那珂地区産の牛について語ります。「骨味(骨のしまり)、体上線、体の品位が4区に出品される牛の審査ポイントですが、南那珂地区の牛は4区はもちろん5区の牛でもとてもバランスが良いんです。これは、先人たちが代々、牛を大事に育て、高い能力を残してくれているおかげなんですよね。それと、地域全体が一丸となつて、お互いに助け合いながら全共に向かう姿勢が、南那珂地区ならではの強みだと思います。今大会でもきつと良い成績を残してくれるのではないのでしょうか。」

代表に選ばれなかった
みんなの想いを
背負っているわけ
ですから。

和牛オリンピック 徹底解説

Q 和牛オリンピックとはなんですか?

5年に一度、全国各地で行われる予選を勝ち抜いた優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競う全国大会です。毎回開催地は変わります。

Q 大会の目的はなんですか?

優秀な成績を収めることで、その和牛ブランドの市場価値を全国的に高めるといふ狙いがあります。開催県にとっては、食・観光・物産・歴史文化などを全国へ情報発信できる絶好の機会となり、大きな経済効果が見込まれます。

Q どのように審査されるのですか?

まず、牛は月齢によって1区から9区までの出品区に分けられています。ボクシング選手が体重によって階級が違うのと似ています。「種牛の一部(1〜6区と7区の一部)は雄牛・雌牛の体型によって優劣を決め、「肉牛の一部」(7区の一部と8、9区)では、大会当日に食肉処理して肉質を審査します。

Q どういった体型や肉質が良いとされるのですか?

背中から腹までの長さや肩から尻までの長さは長いほど、背中のラインは真つすぐで腹のラインと平行であるのが理想の体型とされます。肉質は、皮下脂肪や筋間脂肪が薄く、ロース芯(胸の筋肉)の面積が大きいほど評価が高くなります。

Q 全国から何頭の牛が集まるのですか?

種牛334頭、肉牛183頭の計517頭が全国から出品され、過去最高の数になります。宮崎県は28頭を出品します。そのうち串間市からは、種牛6頭、肉牛1頭の計7頭が出品されます。

Q どのような流れで全国大会に進めるのですか?

各地域で行われる第1次選考で地区代表牛を選出したのち、最終選考にて各地区代表牛の中から県代表牛が決まり、全国大会に進むことができます。